

政権交代後の政治 ―「二大政党政治」は終わったのか

ノンフィクション作家、評論家
塩田 潮

- * ハードルが高くなった参議院選挙
- * 「強い日本」「強い自民」取り戻す？
- * なぜ経済政策最優先なのか
- * 健康不安は解消したか
- * 国民投票法の施行後に狙い
- * 元総理大臣二人をお手本に
- * ひとまず幕の二大政党政治
- * 対抗勢力は維新・みんなが軸
- * 簡単でない参議院での過半数
- * 守りに回ると危うい安倍首相



浅野 それでは開会します。（拍手）1月は佐々木毅さんの政治の話がありました、格調が非常に高かったですね。もちろん今日、格調が低いわけではありませんけれども（笑）なまなましく政治の現実に迫っていたかどうかということで、最もふさわしい評論家の一人である塩田さんにお願ひしました。

前回は一昨年の11月でしたが、野田政権の話を中心にしていただきました。これだけくるくる代わりますとテーマが常にお話ししやすいのではないかと思いますが、マスコミでも本当に活躍されていて、東洋経済もたいへんお世話になっております。

今日は安倍政権の話で、特に経済的なところもかなり出てくると思いますので楽しみに聞き

たいと思います。それでは塩田さん、よろしくお願ひいたします。（拍手）

塩田 『民主党の研究』という著書を持っておりましたから、民主党政権時代は講演のお話がたくさんありました。で、自民党になったらどうなるかと思ったら、たまたま安倍晋三さんの登場となりました。私は安倍さんが前の内閣をつくられて3カ月ぐらいいたとき『安倍晋三の力量』という本を書いていました。（笑）安倍晋三さんに力量があるかないかという問い掛けですけれども、その時点では、たぶんなかるうということでしたが、再登場しまして、スタートは絶好調です。

支持率は1月28日発表の共同通信では66%。自民党の支持率も40%まで上がっていきま